

能
野
守・**觀世鍊之丞**
狂言
腰
祈・**松田高義**
黒頭
天地之声

平成31年

2月10日(日)

12時30分開演
(11時30分開場)



名古屋観世会 定例公演能

◆ 平成31年度のご案内（年3回の上演になります）※自由席券は、各回共通、1回に何枚でもご使用になります。

定例公演 2月10日(日)

井 筒
野 守
黒頭
天地之声

普及公演 6月9日(日)

源氏供養 清沢 一政
安達原 山中 雅志

定例公演 11月10日(日)

景 清 梅若 実
半 部 久田 勘鷗

年間指定席券(3回) 20,000円

当日指定席券 定例:8,500円/普及:7,500円

学生券(自由席) 3,000円

年間自由席券(3回) 15,000円

当日自由席券 定例:6,500円/普及:5,500円

すでにご購入済みの「年間チケット」を指定席に変更できます。

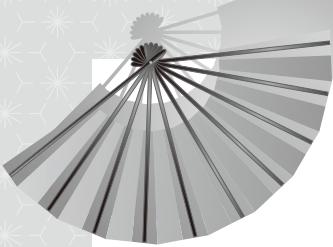
●年間自由席→指定席に変更の場合 差額 3,000円

指定席券を指定日にご利用できなかった場合、年度内ならば何時でも、自由席券としてご使用できます。その時は必ず受付にて当日券に変更してください。※自由席満席の場合はご容赦ください。

お問い合わせ

名古屋観世会事務所(久田勘鷗方)
〒451-0041 名古屋市西区幅下2-10-9

TEL(052)265-5158
FAX(052)446-6025



附
祝言

能

野

守

黒
天地之声
頭

間

觀世鍊之丞

狂言

腰

祈

能

井

筒

觀
世
清
和

番

組

福王茂十郎	大鼓	河村總一郎	觀世清和
野村又三郎	小鼓	船戸昭弘	
上田公威	地謡	松田高義	
山階彌右衛門	地謡	野村又三郎	鹿取希世
後見		藤波徹	
伊藤裕貴		伴野俊彦	
山中雅志		松山幸親	
清沢一政		上田公威	
根祥丸		久田勘鷦	
祖父江修一		加藤洋輝	
觀世芳伸		大野誠	
大槻文藏		上田勘鷦	
久田勘鷦		清沢一政	
近藤幸江		前野郁子	
今沢美和		河村真之介	
飯富雅介	大鼓	大倉源次郎	
野村信朗	小鼓	吉沢旭	
後見		八神孝充	
大槻文藏		本田幸親	
松山幸親		山中雅志	
觀世芳伸		山階彌右衛門	
(四時頃終了予定)		（四時頃終了予定）	

◆野守(のもり)

【あらすじ】出羽国(山形県)の羽黒山からやつて来た山伏が、大峰葛城山へ参る途中、大和国奈良県春日の里につきます。そして誰か人がやつて来たらこのあたりの名所について聞きたいものだと思つてみると、丁度一人の老人がやつて来ます。そこで近くにあつたわのありそうな池について尋ねます。すると老人は、私のような野守が姿を写すので、「野守の鏡」とつてゐるが、本当の「野守の鏡」というのは、屋は人となり、夜は鬼となつてこの野を守つていた鬼神の持つていた鏡のことだと答えます。更に「はし鷹の野守の鏡、得てしかな、思ひ思はず、よそながら見ん」という歌は、この池について詠まれたのかと山伏が聞くと、老人は、昔この野の御狩のあつた時、御鷹を逃がしたが、この水に姿がないくて老人は塚の中へ姿を消します。(中入)丁度來合わせた土地の人から、野守の鏡の名の由来などを再び聞かされ、先の老人は、野守の鬼の化身であろうと告げられます。山伏はこの奇事を喜んで塚の前で折つていると、鬼神が鏡を持って現れ、天地四方の方を書いて見せたのち、大地を踏み破つて奈落の底へ入つてゆきます。

能楽手帖 権藤芳一より

【あらすじ】諸国一見を志す旅僧が、奈良から初瀬へ行く途中、在原寺を訪れ、業平とその妻を用います。するとそこへ、一人の里女が現れ、井戸の水を汲み上げ、古塚に手向けています。僧がいぶかって尋ねると、それが業平の墓であることを教えるので、業平のゆかりの者かとただすと、女はそれを否定しつつも、問われるままに次のような事を語ります。業平は紅有常の娘と浅からず契りながらも、「時、高安の里の女の許に通つていたが、「風吹けば沖つ白波龍田山、夜半にや君が独り行くらん」という歌を詠んで、自分の身を案じてくれる妻の真心にうたれて、元に戻つた話や、幼い頃この井筒のそばで二人遊びたむれたが、幼馴染の親しさが長じて恋となり、「筒井筒井筒にかけしまろが丈、生ひにけらしな、妹見さる間に」「比らべこし振分髪も肩過ぎぬ、君ならずして誰か上々べき」と歌を詠みかわして夫婦となつた話などをします。そして、自分こそ井筒の女と呼ばれた有常の娘だと名乗つて、井筒の陰に姿を消します。(中入)旅僧は来合せた機本の者からも業平夫婦の話を聞き、先の女は有常の娘の化身であるから申つてやるよう勧められます。旅僧は、井筒の水に映して業平の面影をなつかみますが、やがて夜明けと共にその姿は消え、僧の夢も覺めます。

平成31年 名古屋観世会 公演予定

普及公演 | 6月9日(日)
清澤中雅志
源安
氏達
養原
供

定期公演 | 11月10日(日)
梅久
若田勘鷦
景半
清節

◆御案内

一都合に依り曲目、出演者に変更があるかも知れませんが予めご承知下さい。
一携帯電話及び時計のアラーム等はあらかじめ電源をお切り下さい。
一、音撮影等はかたくお断り致します。
一、児童の中はお静かに又演能中の出入りはなるべく遠慮下さい。
一、演能中はお静かに又演能中の出入りはなるべく遠慮下さい。
一、演能終了後の拍手は、シテが幕に入ります迄御遠慮頂ければ幸甚に存じます。



名古屋能楽堂

〒460-0001 名古屋市中区三ノ丸一丁目1番1号

TEL.052-231-0088

FAX.052-231-8756
<http://www.bunka758.or.jp/>